

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
Engage Rotary Change Lives



個々の価値観を尊重し
自らロータリーを楽しもう

国際ロータリー会長 ロンD. バートン

2013~2014

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2333 第32回例会 2014. 3. 6 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：大網庄一郎 SAA

ソング：奉仕の理想

会長挨拶

須藤 隆 会長

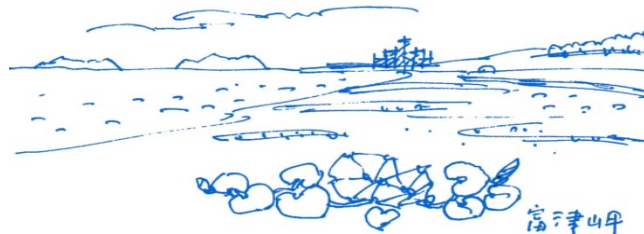
皆さんこんにちは。2月「逃げ月」と言われるように、年が明けて2月に入ったと思ったらもう3月、早いもので春はすぐそこです。先ず皆さんにお知らせがあります。一つは白石会員が福祉功労賞で富津市から表彰されました。もう一つは三枝会員の俳句「雪搔きの腰痛ばかり当番医」が朝日新聞の俳壇欄の10句選ばれた一句目に選者の講評付で掲載されていました。

さて今日は、世界のニュースになっているウクライナについて、にわか勉強した知識を話したいと思えます。ウクライナは地理的には黒海に面し、東ヨーロッパに隣接し、西に東欧のポーランド、ハンガリー、スロバキア、南西にルーマニア、モルドバ、北にベラルーシ、北東に巨大なロシアと7か国もの国境と接する人口4600万人の国です。歴史的には、紀元前6千年頃から東欧最古の農村の集落があったと言われていました。1800年から1900年ぐらいまでは西部はオーストリア・ハンガリー帝国に属し、中部・東部・南部はロシア帝国に属していました。ロシア革命により、ロシアの帝政が崩壊し、紆余曲折を経てウクライナ社会主義共和国となり、1922年にソ

ビエト社会主義共和国連邦に組み込まれました。第二次世界大戦では、独ソ戦で最も激しい戦場とされ、多くの歴史的建造物は失われ、その傷跡は今も各地に残されていると言います。

第二次大戦後、ソビエト連邦内ではロシアに次いで2番目に重要な共和国になり、「ソ連の穀倉」と言われました。戦後のソビエト連邦では皆さんご承知のように、フルシチョフ、ブレジネス体制を経て、共産党の一党独裁がしばらく続き、いわゆる米ソの冷戦時代でもありました。ゴルバチョフが大統領になり、ペレストロイカ(改革)とグラスノスチ(情報国会)を推し進め、その結果として共産党権力の弱体化し、1991年のソビエト連邦の崩壊となりました。それまでの15の共和国による連邦制が瓦解し、それぞれのソビエト社会主義共和国は独立国家となりました。ウクライナはそのうちの一つです。それまでのソビエト社会主義共和国の中ではロシアが最大で、全体の面積の76.6%を占め、2番目がカザフスタンで12.2%、3番目がウクライナで2.7%です。それでもウクライナの面積は日本の16倍です。ウクライナは先ごろの政変で親ロシア派の大統領が失脚し、新欧米派に政権が移動しましたが、ロシアは新政権を憲法に基づく手続きを経ていないため認められないとし、クリミア自治共和国のロシア系住民の保護の名目で軍隊を派遣したことが今回の問題の発端です。欧米各国は他国に軍隊を派遣するのは侵略行為であると一斉に非難しており、西欧メデイ

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



アは新たな冷戦時代の再来かとも報道しています。今や世界経済はグローバルにつながっており、地域の紛争に即市場は反応し、国際情勢が世界経済に及ぼす影響は避けられません。大事に発展しないことを切に願いたいものです。

幹事報告

山田 昌雄 幹事

君津地方教育書道研究会から第53回君津地方小中学校書き初め展について後援者に実績報告がありました。

誕生祝 永島 強 S19.3.2

誕生祝一言 永島 強 会員(大網会員代読)

誕生祝を頂き、ありがとうございます。古希70才、老人の仲間入りとなりましたが、まだまだ心身共に還暦のつもりで頑張っていきたいと思えます。

委員会報告

若鍋 武良 副会長

RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)に参加して

地区RLIが、1月16日(第1回、Part1)と2月2日(第2回、Part2)の2日に亘り、千葉市を会場に開催され参加をしてきました。RLIはいくつかのキーワードをもとにロータリーを語り合いながら学ぶことで、ロータリアンの自己啓発を促して、クラブの活性化をめざそうとする研究会です。1992年に草の根の運動としてアメリカの第7510地区(ニュージャージー州)で始められ、今では世界343地区で実施されている多地区合同プログラムです。世界中で共通のプログラムで研修が行われ、どの地区の研修にも参加できるようになっています。国内でも34地区のうち30地区で実施されているようです。第2790地区は今年度から実施です。

当日は地区内から72名の会員が参加、12名ずつ6つのグループが、6セッションに分かれ、昼食をはさんで10時から16時50分まで(各セッションは50分)の6時間のプログラムでした。各セッションの内容は、「リーダーの本質」「私のロータリー世界」「会員を引き込む」「私たちの財団」「倫理と職業奉仕」「奉仕プロジェクト」で、ディスカッションリーダーのもとお互いの意見を出し合いました。結論を求めるので

はなく、お互いの意見を聞き、ロータリーとは何かを考えさせられる貴重な1日でした。第1回と第2回は内容が異なり、両方の出席を義務付けられていたもので、内容は盛りだくさんで、他クラブの様子も知ることができました。また、自分のロータリーに関する知識の乏しさを痛感しました。

ロータリークラブは、奉仕をする団体ではなく、個人が奉仕の理想を培った個人の集まりであり、職業の倫理観や魅力ある人間性を育むために自分磨きが必要です。そのために、各ロータリアンは一人ひとりがロータリーの指導原則(ロータリーの目的、五大奉仕、四つのテスト、ロータリアンの行動規範)を理解し、ロータリアンの哲学となっている2つの標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最もよく報いられる」を糧に自己研鑽を続けるべきであると感じた次第です。

ニコニコBOX

平野 安照 親睦担当部員

*永島 強 誕生祝をいただいて

白石幸久 会長挨拶の話題にいただきまして

* >1,000円 合計4,000円

出席報告

白石 幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/19	16	3	0	84.21%
前回	21/20	17	3	0	85.00%

理事会報告

1. スケジュール

3/13 夜間例会、訪台壮行会

3/20 会員卓話 石渡親睦委員長、多田会員

3/27 会員卓話 平野会員、刈込会員

4/3 会員卓話 志波会報・広報委員長、
家族集会は4月に行う。

2. 台湾訪問の件

登録料及び土産代として会より5万円供出

3. 姉妹クラブ塩山訪問の件

大雪災害に対し見舞金送呈(20万円程度)。又、大雪災害に配慮して塩山訪問は中止。